

開館十五周年記念

名幅百三十撰

会期

4月13日(金)～6月24日(日)

月曜日休館 但し4月30日は開館



ごあいさつ

鉄斎美術館は清荒神清澄寺が永年にわたって蒐集した鉄斎の書画そのほかの作品を展示する目的をもって、昭和50年4月に開館し、今年で満15年を数えるに至りました。

その間に催しました展観は延べ77回に及び、内容につきましては、絵画・書・篆刻・器玩・粉本ほか碑文拓本等、およそ鉄斎の手になる多様な仕事を、あますところなく世に紹介して参りました。これらの展観は、清澄寺の所蔵品だけではなく、全国のご所蔵家のご好意を得て実現したのも少なくなく、ここにあらためて、平素のご協力に御礼申し上げる次第でございます。また近年では、昭和61年秋には私どもの永年の夢であり、鉄斎作品の淵源でもあります中国（上海・北京）で鉄斎展を開催し、また昨年秋にはユーロパリア89ジャパンに参加して、ベルギー・ルーヴァン市において鉄斎展を行い、それぞれの地で深い理解を得て国際親善の責を果たしましたことは、私どもにとりまして大変な喜びでありました。

この記念展に関しましては、京都国立近代美術館の内山武夫先生より貴重なご意見を賜わり、また玉稿をお寄せ頂きました。ここに厚く御礼申し上げる次第であります。

私どもと致しましては、今後、ますます鉄斎芸術の調査研究はもとより、所蔵品の充実保管、展観の向上等につき、意を注いで参りたく存じております。猶一層江湖の皆さまのお力添えをお願い申し上げます。

平成2年4月

清 荒 神 清 澄 寺
鉄 斎 美 術 館

名幅百三十撰に寄せて

内山武夫

この四月で、鉄斎美術館が開館十五周年を迎えられるという。わが国が世界に誇る鉄斎芸術の普及と研究に、多大の功績を積んで来られた同館の活動に日頃から敬意を払っている者として、心から御祝いを申し述べたい。

先般、同館から、十五周年を記念して開かれる、所蔵品による「百幅展」の作品を選んで欲しいとの依頼があった。坂本光聰和上の選定に一般性を持たせたいとのお考えからということであった。鉄斎研究家でもない私に依頼があったのは、日頃近代絵画を見ている眼で選んで欲しいとの御意向であろうと推量し、僭越乍ら協力させていただくことにした。

鉄斎美術館には、千点をこえる鉄斎作品が収蔵されている。掛幅に限るとはいえ、収蔵作品の半ばは掛幅であり、しかも名品揃いときには、百幅を選ぶことは至難の作業であった。とても百幅に絞りきることはできない。結局百幅という枠は外されて、百三十幅ということになったが、それでもその数に限定することは私には不可能で、最終的には鉄斎美術館にお助けいただいた。

選択にあたっては、確かに鉄斎の名品は晩年に多いのだが、初期の細い描線による作品や大和絵の作品にも見るべきものが多く、初期からの画業が窺えるように心掛けた。勿論、気韻の生動する作品を優先したことは言うまでもない。

鉄斎芸術の最大の魅力は、水墨表現にあることは、よく言われるところである。正にその通りで、墨の濃淡の深い味わいや、また内なる力が溢れ出るような、時に激しく、時に躍るような筆の動きが造り出すリズムは、墨の諧調と相まって、実に生き生きとした音楽的リズムを感じさせてくれる。そこへ濃彩が施されて、豊満な趣きを生んでいるかと思えば、或いは淡彩が添えられて、実に潇洒な味わいを生む。

また画面の構成は、自由に描かれているのに、実に充実した空間と重厚さを備えている。下図などに拠らないのに、変化に富み、動きに充ちている構図には驚かされてしまう。さらに主題によっては謹厳さが表われ、また別の主題では極めて和やかで、時にはユーモラスである。こうした鉄斎作品群から百三十点を選ぶことは、先にも述べたように、難しいことではあったが、また実に楽しい作業であった。

作品が与えてくれる楽しさこそ、当時から鉄斎の絵の注文が多かった理由であろう。またさらに、その作品の豊満な趣きや目出度さ、しかもそれが一点の卑俗さのないことも鉄斎人気の因となっているように思える。これは鉄斎の高潔な精神、晴朗な世界観に基くものであるが、その形成の基盤となっているのは石門心学であり、神道、仏教、朱子学、陽明学、あるいは老荘思想であった。

こうした古い宗教、哲学、倫理を根底とする鉄斎の作品が示す近代性は、一体どのように解釈すればよいのであろうか。よく行われるように、セザンヌに比され、あるいはゴッホ、またルオーに比される鉄斎の作品の新しさは何処から来ているのであろうか。私には確たる答えはない。鉄斎は南画から復古大和絵、琳派や中国の文人画等、ひろく先人の絵画を学んだが、その学び方が単に個々の表面的な様式のみを学ぶのではなく、その精神を学び、様式的には全く独自の解釈によって学んでいたことに大きな意味があったのではないかと感じるのみである。鉄斎が学んだ写実も装飾も表現も、ただ表面的なものではなく、内面でそれらの全てがからみ合い、鉄斎独自のものとして結合していたのではないだろうか。それが写実を根底として展開してきた西洋での表現を重んじる行き方や、感覚を重視する近代の画家と近似を示しているのであろう。わが国の近・現代の画家で鉄斎に憧れた人は多い。しかし、鉄斎を超える画人をまだ見ない。新しさとは何か、深く鉄斎の作品に考えさせられること大である。

(京都国立近代美術館学芸課長)



46 竹窓聴雨図

《出品目錄》

番号	題名	製作年代	年令	本紙寸法	材質
1	烟霞幽情図	1864(元治1)	29	98.5×31.9	紙本淡彩
2	層巒雨霽図	1867(慶応3)	32	125.6×39.5	紙本墨画
3	擬明人筆着色山水図	1868(慶応4)	33	129.3×35.9	絹本着色
4	十六羅漢像	1868(慶応4)	33	128.5×28.8	紙本着色
5	花卉図	1869(明治2)	34	125.4×41.9	紙本墨画
6	菟道製茶・粟田陶窯図	1869(明治2)	34	(各)130.0×44.4	統本淡彩
7	青緑山水図	1869(明治2)	34	143.4×43.4	絹本着色
8	越溪觀楓図	1869(明治2)	34	136.7×48.2	紙本着色
9	壳柑者図	1872(明治5)	37	148.5×49.5	統本淡彩
10	秋草図 蓮月尼歌賛	不詳	30代	33.0×49.0	紙本着色
11	雪中牡丹図	不詳	30代	123.3×36.2	紙本淡彩
12	三津浜魚市図	1875(明治8)	40	180.2×81.9	紙本淡彩
13	漁樵問答図	1877(明治10)	42	146.4×65.4	統本淡彩
14	淡彩山水図	1878(明治11)	43	149.7×68.0	紙本淡彩
15	通天紅葉図	1882(明治15)	47	138.4×55.0	絹本着色
16	群盲評古図	1884(明治17)	49	182.8×86.6	紙本着色
17	空翠湿衣図	不詳	40代	144.2×78.5	紙本墨画
18	山上憶良貧窮問答歌図	1891(明治24)	56	130.5×42.2	絹本着色
19	幽風詩意図	1893(明治26)	58	(各)135.6×49.2	絹本着色
20	湘君図	1894(明治27)	59	141.4×48.7	紙本着色
21	楠妣庵図	1894(明治27)	59	140.4×49.6	絹本着色
22	野亭遊客図	1894(明治27)	59	180.5×97.0	紙本墨画
23	懸崖蘭図	不詳	50代	130.7×42.8	紙本墨画
24	天保九如章図	1896(明治29)	61	140.3×56.0	絹本着色
25	太秦牛祭図	1897(明治30)	62	149.0×53.0	統本着色
26	三老登嶽図	1901(明治34)	66	129.6×50.3	絹本着色
27	茶僊溪居図	1903(明治36)	68	147.3×50.5	絹本着色
28	溪山勝概図	不詳	60代	187.2×99.9	紙本墨画
29	普陀落山觀世音菩薩像	不詳	60代	147.0×41.9	絹本着色
30	松芝剛勁図	1905(明治38)	70	209.8×71.1	紙本着色
31	隱士牡丹花肖柏像	1905(明治38)	70	127.6×49.8	絹本着色
32	觀世音菩薩像	1906(明治39)	71	137.8×70.5	紙本淡彩
33	赤壁前後図	1907(明治40)	72	(各)144.4×42.5	絹本着色
34	江山招隱図	1909(明治42)	74	116.6×42.2	絹本着色
35	石翁逍遙図	1909(明治42)	74	135.0×48.6	紙本淡彩
36	人生行楽図	1911(明治44)	76	124.8×40.6	紙本墨画
37	福祿寿図	1912(明治45)	77	129.5×52.0	絹本着色
38	莊子八千椿図	1912(明治45)	77	142.0×42.0	絹本着色
39	武陵桃源図	1912(大正1)	77	130.1×45.0	紙本着色
40	擬土佐又平筆法遊戲人物図	1912(大正1)	77	138.0×51.2	絹本着色
41	鐘馗騎虎図	1914(大正3)	79	136.4×54.8	紙本着色
42	華之世界図	1914(大正3)	79	140.1×41.6	絹本着色
43	蝦夷人熊祭図	不詳	70代	135.5×41.7	紙本着色

番号	題名	製作年代	年令	本紙寸法	材質
44	山居夜雨図	不詳	70代	径40.1	紙本淡彩
45	秋聲賦意図	不詳	70代	141.5×69.7	紙本淡彩
46	竹窓聽雨図	不詳	70代	181.0×114.2	紙本墨画
47	踏雪沽酒図	不詳	70代	128.7×33.5	紙本墨画
48	梅山幽趣図	1915(大正4)	80	130.0×42.0	絹本着色
49	東瀛神境図	1915(大正4)	80	150.4×81.4	紙本墨画
50	鷺図	1915(大正4)	80	140.3×55.7	紙本淡彩
51	十牛図 意図	1916(大正5)	81	150.8×51.4	絹本着色
52	山居静観図	1916(大正5)	81	152.2×43.8	紙本着色
53	蘇子笠履図	1917(大正6)	82	146.4×61.0	紙本淡彩
54	呂僊修道図	1917(大正6)	82	141.8×42.4	絹本着色
55	猛虎図	1917(大正6)	82	141.8×53.3	紙本着色
56	王元之竹楼記図	1917(大正6)	82	169.6×70.8	絹本着色
57	東坡帰院図	1917(大正6)	82	132.8×32.3	紙本着色
58	寄情丘壑図	1917(大正6)	82	145.5×52.3	絹本着色
59	大瀑図	1917(大正6)	82	144.2×87.0	絹本墨画
60	幽溪漁隠図	1917(大正6)	82	142.9×51.1	絹本着色
61	撥雲訪友図	1917(大正6)	82	133.2×31.4	紙本淡彩
62	幽溪帰樵図	1917(大正6)	82	129.6×32.5	紙本淡彩
63	三老吸酢図	1918(大正7)	83	137.7×40.2	紙本淡彩
64	大原邨婦図	1918(大正7)	83	141.8×52.1	絹本着色
65	山高水長図	1918(大正7)	83	142.6×51.3	絹本着色
66	蘇東坡像	1918(大正7)	83	100.5×32.0	紙本淡彩
67	東瀛僊苑図	1918(大正7)	83	74.9×85.8	絹本着色
68	孔明躬耕図	1919(大正8)	84	131.4×47.9	紙本淡彩
69	乘桴浮海図	1919(大正8)	84	165.4×50.0	絹本着色
70	茂松清泉図	1919(大正8)	84	153.5×51.1	絹本着色
71	網川雪景図	1919(大正8)	84	133.6×64.4	紙本淡彩
72	東瀛神山図	1920(大正9)	85	132.5×42.0	絹本着色
73	福祿寿図	1920(大正9)	85	131.5×63.8	紙本着色
74	讀書立志図	1920(大正9)	85	132.0×34.5	紙本淡彩
75	漁邨暮雨図	1920(大正9)	85	131.0×32.3	紙本墨画
76	普陀落山觀世音菩薩像	1920(大正9)	85	146.5×40.0	紙本淡彩
77	南極寿老星図	1920(大正9)	85	132.5×52.0	紙本着色
78	洛西太秦瑠璃光如来画像	1920(大正9)	85	135.7×38.0	紙本淡彩
79	浮島原晴景図	1920(大正9)	85	26.8×24.0	紙本銀地着色
80	歲寒二雅図	1920(大正9)	85	132.3×33.6	紙本淡彩
81	山居静適図	1920(大正9)	85	113.6×47.6	紙本墨画
82	笑傲煙霞図	1920(大正9)	85	173.0×46.9	紙本墨画
83	陳希夷僊窩図	1920(大正9)	85	131.0×32.5	紙本着色
84	溪居清適図	1921(大正10)	86	146.0×40.0	紙本着色
85	東坡煎茶図	1921(大正10)	86	133.0×32.6	紙本淡彩
86	盆蘭図	1921(大正10)	86	132.0×32.0	紙本淡彩
87	雲關石門図	1921(大正10)	86	131.7×54.3	紙本墨画
88	蘇子談癖図	1921(大正10)	86	131.8×32.1	紙本淡彩

番号	題名	製作年代	年令	本紙寸法	材質
89	儂游蓬萊図	1921(大正10)	86	50.8×63.8	紙本着色
90	帝者師太公望釣魚図	1921(大正10)	86	141.5×38.6	紙本淡彩
91	孫真人山居図	1921(大正10)	86	145.9×40.4	紙本着色
92	補陀落迦山図	1921(大正10)	86	146.1×40.6	紙本着色
93	漁父会飲図	1922(大正11)	87	132.6×32.1	紙本着色
94	七福遊戯図	1922(大正11)	87	141.6×41.3	絹本着色
95	売書船図	1922(大正11)	87	130.0×32.1	紙本淡彩
96	前赤壁図	1922(大正11)	87	155.2×43.0	紙本淡彩
97	赤壁四面図	1922(大正11)	87	155.6×42.7	紙本淡彩
98	心遊仙境図	1922(大正11)	87	131.9×33.7	紙本着色
99	利市三倍図	1922(大正11)	87	134.0×32.5	紙本淡彩
100	後赤壁図	1922(大正11)	87	146.6×40.4	紙本淡彩
101	東坡閑居図	1922(大正11)	87	153.5×42.8	紙本着色
102	嫦娥奔月図	1923(大正12)	88	132.6×53.6	紙本淡彩
103	南海普陀山図	1923(大正12)	88	130.8×65.0	紙本墨画
104	青龍起雲図	1923(大正12)	88	133.6×32.4	紙本淡彩
105	古仏龕図	1923(大正12)	88	149.7×39.8	紙本着色
106	水郷清趣図	1923(大正12)	88	130.7×31.0	紙本淡彩
107	瓢中快適図	1923(大正12)	88	132.2×31.8	紙本淡彩
108	雲山化城図	1923(大正12)	88	133.5×33.5	紙本墨画
109	西王母像	1923(大正12)	88	131.0×47.0	紙本着色
110	蓬丘儂境図	1923(大正12)	88	175.1×48.0	紙本着色
111	朱梅老図	1923(大正12)	88	150.4×40.1	紙本淡彩
112	松芝不老図	1924(大正13)	89	150.3×40.0	紙本淡彩
113	対山医俗図	1924(大正13)	89	169.8×41.2	紙本墨画
114	梅華書屋図	1924(大正13)	89	145.6×40.1	紙本着色
115	猿猴捉月図	1924(大正13)	89	131.0×32.1	紙本墨画
116	蘇斜川図	1924(大正13)	89	134.5×33.5	紙本淡彩
117	寿老人図	1924(大正13)	89	133.4×51.2	紙本着色
118	陸羽茶癖図	1924(大正13)	89	133.9×33.5	紙本淡彩
119	弘法大師在唐遊歴図	1924(大正13)	89	132.9×33.3	紙本淡彩
120	巖栖十八羅漢圍碁図	1924(大正13)	89	144.6×39.2	紙本淡彩
121	葡萄苑図	1924(大正13)	89	132.8×32.1	紙本淡彩
122	聖者問答図	1924(大正13)	89	132.6×32.2	紙本淡彩
123	西湖全景図	1924(大正13)	89	141.2×39.0	紙本淡彩
124	普陀落山觀世音菩薩像	1924(大正13)	89	89.3×32.8	紙本淡彩
125	聖者舟遊図	1924(大正13)	89(90)	143.8×39.6	紙本淡彩
126	蓬萊仙境図	1924(大正13)	89(90)	143.5×39.0	紙本着色
127	水墨清趣図	1924(大正13)	89(90)	144.0×39.1	紙本墨画
128	蓬萊山図	1924(大正13)	89(90)	144.8×39.2	紙本淡彩
129	瀛洲儂境図	1924(大正13)	89(90)	142.6×40.2	紙本着色
130	扶桑神境図	1924(大正13)	89(90)	144.5×39.3	紙本着色

出品作品は期間中下記の通り四回にかけて展示いたします。但し一部作品は重複することがあります。

第一回 4月13日(金)～4月22日(日) 第二回 4月24日(火)～5月13日(日)
 第三回 5月15日(火)～6月3日(日) 第四回 6月5日(火)～6月24日(日)